資料１

「（仮称）これからの高校づくりに関する指針」骨子案

策定の趣旨

○　平成１８年度に策定した「新たな高校教育に関する指針」（現行の指針）については、平成２８年度の検証結果を踏まえ、高校を取り巻く状況の変化に対応するとともに、教育環境の維持向上を図る必要があることから、新しい指針を策定することとした。
○　新しい指針においては、北海道教育推進計画の施策項目と整合を図りながら、現行の指針の「第３章　多様な選択を可能にするための教育制度等の改善」と「第６章　教育水準の維持向上を図る高校配置」を統合し、これからの高校づくりについて具体的な施策の方向性等を示すこととする。

新しい指針の構成及び内容

第１章　基本的な考え方

指針の趣旨のほか、公立高校の配置に関する基本的な考え方を示します。

● 指針の趣旨
○本指針の趣旨や位置付け等

● 公立高校の配置
○現状と課題（中学校卒業者数の状況、今後の課題）
○配置の基本的な考え方（学校規模、学級定員、公立高校と私立高校の関係）
○配置計画の策定

第２章　社会の変化や時代の要請に応える高校づくり

高校づくりの３つの柱について、社会の変化や時代の要請に応える高校づくりの基本的な考え方と具体的な施策の方向性を示します。

● 活力と魅力のある高校づくり
○生徒の興味・関心、進路希望等に対応する普通科、専門学科
○生徒一人一人の個性を伸ばす総合学科、単位制、中高一貫教育
○履修形態の多様化、弾力化を図る定時制・通信制
○全日制、定時制・通信制課程の配置の考え方や再編整備の取扱い
○入学者選抜の改善、修学に対する支援など教育諸条件の整備等

● 経済社会の発展に寄与する人材を育む高校づくり
○北海道の基幹産業を担う農業科・水産科
○技術革新や経済構造の変化に対応する工業科・商業科
○生活や健康に関する社会的ニーズに対応する家庭科・看護科・福祉科
○職業に関する専門学科における学科構成の考え方や再編整備の取扱い

● 地域と繋がる高校づくり
○地域キャンパス校※の導入の考え方や教育環境の充実の方策、再編整備の取扱い
○他校種との連携など地域と密接に結びついた取組
○市町村との連携　等

※　名称の変更を検討中

現行の指針の構成及び内容

第１章　指針の基本的な考え方
１　指針の趣旨
２　指針の基本的な考え方

第２章　未来を担う人材を育むための教育内容の改善・充実
１　心豊かでたくましく生きる力の育成
２　社会の変化に柔軟に対応できる資質・能力の育成
３　本道の明日の地域を支え産業を担う資質・能力の育成
※北海道教育推進計画で記載

第３章　多様な選択を可能にするための教育制度等の改善
１　新しいタイプの学校の拡大
２　普通科高校の特色づくり
３　理数、体育及び外国語に関する学科の充実
４　時代の要請に応じた職業学科の充実
５　定時制・通信制課程の改善・充実
６　多様な学びを実現するシステムづくり
７　教育諸条件等の整備

第４章　教育のプロとしての教職員の資質能力の向上
１　教員の資質能力の向上
２　評価制度、人事異動
３　教職員の心身の健康づくりと生き生きとした職場づくり
４　信頼される教員としての自覚
※北海道教育推進計画で記載

第５章　教育に対する信頼に応えるための学校運営の改善
１　学校運営の改善
２　コミュニティ・スクールの導入
３　中学校との連携
４　地域の教育力の活用と学校の教育機能等の提供
※北海道教育推進計画で記載

第６章　教育水準の維持向上を図る高校配置
１　公立高等学校配置の現状と課題
２　高校配置の考え方
３　全日制課程の配置
４　定時制課程の配置
５　道立高校の市町村への移管